令和８年度 北陸信越運輸局公共交通被害者等支援フォーラム

あの日から始まった現実を、私たちは知らない

人・モノの輸送を担う者として、安全より優先するものがありますか？

それでも、もし事故が発生したら・・・。今年度のテーマは「守る・護る」。

事故を防ぐこと、そして事故後の被害者・家族を支えることを考えます。

事業者のみなさまにぜひ参加していただきたいフォーラムです。

主　催：国土交通省 北陸信越運輸局

日　時：令和８年１１月１０日（火）１３：３０～１５：４０（終了予定）

場　所：北陸信越運輸局　５Ｆ 海技試験室　※対面・オンライン併用

対　象：公共交通事業者、貨物運送事業者、関係団体 ※どなたでもご参加いただけます

第１部
13:35～14:25

軽井沢スキーバス事故被害者家族の思いと遺族会の活動

1.15サクラソウの会　田原　義則　氏（オンライン）

軽井沢スキーバス事故の被害者遺族として、事故当時の状況や事故後の日々、遺族としての思い、事業者に求める対応や再発防止の取り組みについて語っていただきます。

第２部
14:30～15:20

何を護り、どう守るのか
～重大事故を惹起した事業者だからお伝えできること～

神戸市交通局　副局長　児玉　健　氏（現地講演）

重大事故の教訓を踏まえた再発防止の取組と、事故発生後の被害者・遺族への対応や支援体制の整備を通じて、事業者として果たすべき責任について考えます。

報告
15:20～15:35

公共交通事故被害者等支援の現状

北陸信越運輸局　交通政策部共生社会推進課長　渡邉　直美

国土交通省における公共交通事故被害者等支援の取組や支援体制、公共交通事業者による被害者等支援計画の現状について報告します。

申込み期限　11 月 2 日（月）

▼申込フォームはこちら



田原　義則　氏



児玉　健　氏

≪問い合わせ≫
国土交通省　北陸信越運輸局　交通政策部共生社会推進課　渡邉、竹村
TEL:025-285-9152　メールアドレス：hokushin-barihuri@ki.mlit.go.jp,